

平成25年度春季全国大会

インターネットによる「研究発表」講演申込受付及び原稿提出受付について

本会ホームページ「全国大会の案内」からお申し込み下さい。なお、申込及び原稿提出は、インターネット利用のみとなりますのでご注意ください。

研究発表に関する募集要項、講演分類、原稿執筆要領(和文、英文)、講演プログラム校正の電子化、フォーラム論文募集、液晶プロジェクターの利用について等講演及び大会に関する情報については、本誌会告及び本会ホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。

講演申込及び原稿提出につきましては、受付期間が下記のように限定されておりますのでご注意ください。

申込受付期間：11月15日12:00～12月6日14:00

原稿提出期間：1月17日12:00～2月7日14:00

PDF原稿を作成する際は、PDFをプリントアウトする等、文字、写真等の品質をあらかじめ確認して下さい。

なお、講演概要はJ-Stageにて公開されますので、公開

を希望されない方は、非公開希望の旨、あらかじめお申し込み時に学会事務局まで申し出て下さい。

(注意事項)

- ①上記申込受付及び原稿提出期間を過ぎますと受付システムの利用はいっさい不可能となります。時間に余裕を持ってご利用ください。なお、詳細な情報は学会HPにて確認してください。
- ②原稿のファイル形式は、PDF形式のみ受付ます。PDFのファイルサイズの上限は、3MBです。PDFファイル作成のためには、PDFファイル作成専用ソフト Adobe Acrobat(4.0以上のバージョン)をご利用下さい。無料配布ソフト Adobe Reader ではPDFファイル作成ができませんので、ご注意ください。
- ③PDF原稿提出時に申込時の受付番号とパスワードが必要になりますので忘れずに保管してください。

平成25年度春季全国大会「研究発表」講演募集

申込者各位におかれましては、くれぐれも期日を厳守くださるようお願いいたします。

原稿締切から概要集発行までぎりぎりの時間しかありませんので、期限切れ及び不備な原稿は不本意ながら掲載をお断りし、その部分白紙のまま発行することになりますのであらかじめご了承ください。また、プログラム編成後の申込取消は修正不可能ですのでプログラム及び概要集にはその旨記載され、その部分ブランクのまま発表されますのでご了承ください。

◇————◇

平成25年度春季全国大会を下記のとおり開催いたしますから、この大会で「研究発表」講演をご希望の方は申込要領に従ってお申込ください。

開催期日：平成25年4月17日(水)、18日(木)、19日(金)

開催場所：学術総合センター（東京都千代田区）

—講演申込募集—

1. 申込期間：平成24年11月15日(木)12:00～
平成24年12月6日(木)14:00
2. 講演資格：講演者は正員(学生員も認める)でなければなりません。共著者はその限りではありません。
3. 申込方法：学会ホームページへアクセスして、画面上からお申込み下さい。また、下記講演登録料をご納入ください。同一大会での連続報告は2報までですのでご注意ください。
 - ◎講演登録料：1件について8,000円をご納入ください。送金は銀行振込でお願いいたします(振込口座は申込受付時にメール送信いたします)。登録料は講演申込が取り消されても返却いたしませんのでご了承ください。
 - ◎受付済通知：受付番号が発行されますのでパスワードとともに保管しておいて下さい。

※大会参加費は下記料金(改訂後)を大会当日別途申し受けますのでご注意ください。なお、講演概要集(5,000円)は別売となります。

(円)

会員区分		講演登録料	大会参加費
個人会員	正員	8,000	5,000
	学生員		2,000
賛助員		発表不可	5,000
非会員	学生以外	発表不可	10,000
	学生		3,000

*全国大会の講演登録料・参加費について

平成9年度に一部料金を改定しましたが、全国大会の恒常的な赤字運営は解消されていません。一方、公益法人改革の中で「公益性のある一般社団法人」への円滑な移行を目指すためにも、健全な学会財政基盤を構築する必要があります。

このような背景から、全国大会の開催に関して、平成23年度春季全国大会より、講演登録料および大会参加費を改定することになりました。

(平成22年6月11日理事会議決)

4. 原稿(PDF)提出期間：
平成25年1月17日(木)12:00～2月7日(木)14:00
 5. 講演概要原稿：本会「全国大会講演概要原稿執筆要領」に従って作成してください。
 6. 発表時間：講演10分、討論5分
 7. 講演申込の確認：申込を受付けますとただちに受付番号を送信いたします。
 8. 講演申込の取り消しについて
講演申込締切り後ただちにプログラム編成を行います。プログラム編成後の取り消しは他の講演申込者に多大の迷惑を及ぼしますのでくれぐれも慎んで下さい。
- ※PDF(原稿)作成の場合は、事前に解像度を確認してください。

全国大会講演概要原稿執筆要領

— PDF 原稿のみとなります。 —

概要原稿（テンプレート）が本会ホームページに用意されていますのでご利用ください。

講演概要は、提出された原稿をそのまま B5 版（約 2/3）に縮写しオフセット印刷しますので、原稿は必ず下記要領に従ってください。

なお、この要領に記載していない事項については、「溶接学会投稿規定及び執筆要領」に従ってください。

1. 原稿用紙

本会所定（又は、指定フォーマット）のものに限ります。

1 ページ目は、題目、勤務先（研究場所）、氏名、英文タイトル、英文著者名、キーワード、本文などの記入用の用紙（A）を使用してください。

2. 原稿の長さ

題目（和英両文）、勤務先、著者名（和英両文）、キーワード（和英両文）本文、図表及び写真を含めて、原稿用紙 2 枚（A, B）にできるだけ余白を残さずに書いてください。

字数は、40 字×37 行×2 枚=2,960 字（タイトル等に約 360 字、本文は約 2,600 字）です。

3. 原稿の書き方

イ. 題目、勤務先、著者名、キーワード

原稿用紙(A)の所定の場所にそれぞれのレイアウトを考えて書いてください。

題目はできるだけ簡潔に願います。

（副題をつけるときは溶接学会執筆要領に従い間違いないように記載して下さい）

著者連名の場合は、講演をする著者名の頭に○印をつけてください。

英文タイトル及び著者名は、次の例のように書いてください。

Study on Plasma Welding

by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa

キーワードは次の例のように 3~5 ワード書いて下さい。

キーワード：アーク、凝固、割れ、疲労

Keywords: arc, plasma, physics

ロ. 本文

原稿用紙（A）12 行目から（B）いっぱい原稿用紙のコ

マに合わせて黒色で書いてください。また、用紙の枠いっばいにコマ数(40 字×37 行)だけ打ってください。(全体の字数が超過しなければ、行数、一行の字数の多少の変動はかまいません)

オフセット印刷であることを考えて、文字、図表は鮮明に書いてください。

レイアウトに際しては、概要集全体の体裁を考えて、行頭、端末の不揃いや枠のはみ出し・余白がないよう十分に注意してください。

文字の大きさは、刷り上がりが約 2/3 に縮刷されることを考慮して、大き過ぎあるいは小さ過ぎることのないようご注意ください。

大體、原稿用紙のコマに多少隙間をつけて書けば刷り上がりがきれいになります。

ハ. 図表及び写真

図表及び写真は、縮尺（約 2/3）を考慮した大きさにして関連する本文の近い場所に貼付してください。

または、直接原稿用紙に書き込んで結構です。図表挿入の際はくれぐれも枠をはみ出さないようご注意ください。

なお、顕微鏡写真など縮尺を記入する必要があるものは、刷り上がりが 2/3 になることを計算して記入してください。

図表及び写真には、Fig. 1, Table 1 などのように番号を付し、表題、説明（Caption）は英文で書いてください。（写真は Photo でなく Fig. としてください）

4. 校正

校正は（著者、編集者とも）いたしませんから、誤字、脱字のないよう原稿の時点で十分注意してください。

5. 原稿の提出

提出期間内に PDF（原稿）を学会ホームページよりアップロードしてください。原稿提出期限を過ぎますと画面が閉鎖されアップロードできなくなりますので充分ご注意ください。



Guide to Preparation of manuscript for the National Meeting

Manuscripts for the national meeting of JWS should be made with the manuscript papers designated by JWS.

Manuscripts are photographed without any proof-reading and reduced in size of about 2/3 for printing and published as “Preprint of the National Meeting of JWS”.

1. Manuscript papers

The manuscript papers designated by JWS are available from JWS office.

The manuscript papers consist of two sheets, marked A and B, in A4 size. Letters and drawings on the sheets disappear in the printing operation.

2. Length of manuscripts

Title, authors names, affiliations, keywords, text, figures, tables, photographs, references etc should be written on the two sheets, more precisely within the outer frame drawing on the sheets.

3. Instruction for preparation

Manuscripts should be made clearly with a type writer or word processor with black ink.

Figures and tables should be clear even after the reduction for printing.

a) Title, names, affiliations

Title should be filled in the designated place of the sheet A. Authors names and affiliations should be filled in the lines between 3 and 7 of the sheet A.

Title is recommended to be informative and brief. Authors names are full first names followed by the initial of middle and family names. Affiliation is the name of the organization author is working with. Speaker is identified with a circle in the front of name.

Keywords (3~5 words) should be noted

b) Text

Text begins at the line 12 of the sheet A. Letters should be larger than 10 point. Line space is single. Text shall be arranged within the outer frame drawing on the sheets. Trade names should not be used.

c) Tables and figures

Tables and figures should be typed directly or adhered to the sheets within the outer frame drawing on the sheets. Photograph is classified as a figure. Tables and figures have the consecutive numbers and captions. Quantity is given in SI units.

4. Proofreading

Proofreading is not given by the editor

5. Submission of manuscripts

Manuscripts should be mailed to JWS office in an envelope, with a red note “Manuscript for the National Meeting” on its face surface. It is advised to put a hard sheet in the envelope to avoid any damage of manuscripts by bending during handling

— SAMPLE (reduced in size) —

12pt, 明朝体

PLASTIC CONSTRAINT EFFECT ON FRACTURE BEHAVIOR OF A NOTCHED SPECIMEN WITH SIDE GROOVE PART I: ANALYTICAL CONSIDERATIONS OF THE STRESS FIELDS

MOHAMED EI-Shenawy, Fumiyoshi Minami, Masao Toyoda 10.5pt

Department of Welding and Production Engineering
Osaka University, Japan

Kazusige Arimochi 10.5pt

Sumitomo Metal Industries, Japan

Keywords: fracture, toughness, plastic constraint 10.5pt

10.5pt

INTRODUCTION

10.5pt

Fracture mechanics approach is applied to evaluate the fracture strength of structure with respect to the unstable cleavage fracture, plastic constraint is believed to be a major factor

resistance because stress fields are strongly dependent on the constraint condition toughness of the material is decreased with increasing the degree of plastic constraint.

〔原稿見本〕

プラズマ溶接の研究

12pt, 明朝体

10.5pt 日本工科大学 ○秋山 冬彦
世界電機 夏川 春樹

10.5pt

Study on Plasma Welding

by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa

10.5pt

キーワード：アーク，凝固，割れ，疲労 Keywords: arc, plasma, physics

本文（12行目から）→

本研究は，プラズマジェットを用いる溶接法について……

10.5pt

↑

1～2字アケル



全国大会講演プログラム校正の電子化について

— ホームページ上での校正のみとなります。 —

全国大会運営委員会

下記により、「研究発表講演者」向け大会プログラムの校正を一部電子化（PDF 化）し、ホームページ上での校正刷りの閲覧をしておりますので、ご協力のほどお願いいたします。

記

1. 校正開示

大会プログラムの印刷用版下が完了後、講演者宛に E メールにてご通知いたします。（**校正刷りの郵送はいたしません。**）万一事故等により E メールが未着の場合にも、3 月初旬には開示いたしますのでご利用ください。

2. 使用ソフト

アドビ社製アドビリーダー、バージョン 4.0 以上（ウィンドウズまたはマッキントッシュ対応）

無料ダウンロードアドレス

<http://www.adobe.co.jp/produkts/acrobat/readstep.html>

また、現在アドビリーダー バージョン 3.0 の方は 4.0 にアップグレードしてください。

3. 開示場所 <http://www.jpp.co.jp/yosetu>

4. 校正方法

開示場所にて閲覧し、ダウンロードのあとプリントアウトしてください。該当箇所を校正のうえ溶接学会宛 FAX (03-5825-4331) にて送信ください。E メールでの送信はご遠慮ください。

5. アドビリーダーの操作に関する問い合わせ先

日本印刷出版(株) クリエイトグループ

Tel: 06-6441-0075 E-mail: kobayasi@jpp.co.jp



全国大会における液晶プロジェクターの利用について

全国大会運営委員会

今秋季全国大会において、液晶プロジェクターの利用を希望される方は、下記の事項を遵守ください。

なお、パソコンは、発表者が各自ご持参ください。

記

全国大会運営委員会で準備する機器

- 1) 液晶プロジェクタ

発表者の準備するもの

- 1) パソコン
- 2) パワーポイントで作成した発表用のファイル

※休憩時間の間にパソコンの動作確認をしてください。

※講演中の操作は講演者側でお願いします。

平成25年度春季全国大会フォーラム講演募集

主 題：「軽量化を目指した接合技術の動向と今後の展開」

座 長：藤井 英俊（大阪大学）、芹澤 久（大阪大学）、
及川 初彦（新日本製鐵株）

趣 旨：

軽構造接合加工研究委員会では、自動車・鉄道車両・航空機・電機等の分野で使用される薄板構造物や軽構造物（小物部品を含む）の加工・組立工程を溶接・接合技術の立場からながめて体系化やその最適化、高度化、システム化することを目的にして情報交換と討議を行っています。1988年の設立以来、「構造物の軽量化」という社会のニーズにこたえるために、様々な活動を行い、100回の委員会を開催して参りました。わが国の産業は、その発展とともに、高度な先進技術の開発、導入、普及によって、産業構造の高度化に大きく貢献し、様々な分野に高付加価値を生み出してゆくことが期待されており、それらの動きにいち早く対応することを目的に、研究会活動を行っています。

昨今のCO₂削減、省エネルギーの動きで、構造物の軽量化はますます重要な課題となっており、例えば、グローバル輸送時代の到来とも重なって、ボーイング787型機では、構造重量のおよそ50%にCFRPが使用され、ボーイング777型機のおよそ11%と比較すると大幅な変化をもたらしています。また、これらの機材では、軽量化、低コスト化を達成しつつ、環境適合性の向上、居住性の向上も図られています。

軽格接合加工研究委員会では、2008年に「地球環境保全、高機能化を目指した溶接構造物の最前線」の内容でフォーラムを開催し、すでに、現在の流れを予測した展望について議論して参りました。その際、CO₂削減の流れに伴って、構造物の軽量化はますます重要な課題となっていることを改めて確認致しました。

21世紀の課題である地球環境保全、低炭素社会を構築するための基盤技術を担っている、キーテクノロジーである。「軽量化技術」は、単に一つの専門分野だけの開発だけ

では達成できず、材料、力学加工、計測制御などの専門含めた総合力が強く望まれている研究開発分野です。当該技術における革新的な発明・発見を期待しながら、溶接・接合分野での共通のプラットフォーム上で技術を深めていく必要があると考えております。そこで、本フォーラムでは、「低環境負荷、省資源、省エネルギー」を念頭にした、最新の接合技術について紹介し、将来の展望について議論を深めていきたいと考えています。

記

予定討議内容：

- (1) FRP/金属の溶接・接合
- (2) FRP/金属の接着
- (3) 輸送機器への接着剤の適用
- (4) メカニカルジョイニング
- (5) 航空機等の摩擦攪拌点接合の新規適用例

日 時：平成25年4月18日（木）（大会2日目）

13:00～17:00（予定）

会 場：学術総合センター（東京）

申込方法：著者名、タイトル、概要（200字程度）、所属、連絡先を明記し、FAX（03-5825-4331）にて、溶接学会事務局へお申し込みください。

申込締切日：平成24年10月31日（水）

講演採否：直接申込者に連絡いたします。

講演論文原稿送付締切日：平成25年2月7日（木）

注）採択された講演者には、所定様式に従って作成した原稿を上記送付期限までに提出していただきます。提出していただいた原稿は、溶接学会全国大会講演概要集No.92に掲載いたします。なお、講演時間は、1件約15分～30分程度を予定しています。原稿作成方法などの詳細は座長より連絡いたします。

WEB掲載の溶接学会論文集30巻(平成24年度)の印刷物の購入について

溶接学会論文集は、平成19年1月より印刷物での発刊に代わってホームページ上にてWEB版として発刊されております。

印刷物にて一年分を纏めたものを購入される会員各位は、会員特価にて下記により、平成24年11月末日までにお申込み下さいますようお願いいたします。

溶接学会論文集 30巻 (平成24年度)

価 格：溶接学会会員特価 7,500円/年1冊 (税込)

送 料：500円 (税込)

発行時期：平成25年1月下旬頃

送 付 先：学会誌発送登録先

【申込先】

申込時に「会員番号」「お名前(会員名)」「冊数」「ご連絡先」をご明記の上、FAXにてお申込み下さい。折り返し、請求書をお送りいたします。

一般社団法人溶接学会 事務局 会員係 宛

F A X：03-5825-4331

申込締切：平成24年11月30日

入金締切：平成24年12月31日

尚、入金締切日までにご納入がない場合ご注文はキャンセルとさせていただきます。

上記以外でご購入を希望される方は、日本印刷出版株式会社 (TEL 06-6441-0075 FAX 06-6443-5815) へ直接ご注文下さい。 定価 15,000円/冊 税込・送料別
会員以外の方の申込締切：平成25年3月31日

第40回溶接学会東部支部実用溶接講座(見学会&講演会)

IIW 資格制度特認コース：J-ANB 認定講座
ISO14731/WES8103 溶接管理技術者資格制度：
再認証審査小委員会認定講座
「造船所見学と溶接の自動化・効率化」

主催：(社)溶接学会 東部支部
共催：(社)溶接学会 東部支部-千葉地区委員
協賛：日本溶接協会, 日本機械学会, 日本金属学会, 日本材料学会, 日本鉄鋼協会, 日本鋼構造協会, 日本ロボット学会, ステンレス協会, 軽金属溶接構造協会, 日本非破壊検査協会, 腐食防食協会, 日本溶接技術センター, 日本工業出版, 産報出版 (順不同, 含依頼中)
趣旨：

溶接は日本の産業を支える重要な技術の一つであり、溶接技術が活躍する分野の一つに造船業があります。韓国や中国の急激な成長のもと、日本の造船業は国際競争力を保つために溶接の自動化や効率化に積極的に取り組んでいます。

本講座では、最新の自動化・効率化技術とその製品への適用事例を紹介するとともに、造船所の見学を実施いたします。是非多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

開催日時：平成 24 年 10 月 26 日 (金)
開催場所：三井造船株式会社 千葉事業所
(〒290-8531 千葉県市原市八幡海岸通 1 番地)
定員：50 名(先着受付順, 定員に達した時点で締め切らせて頂きます)

参加費：溶接学会員(賛助会員含む) 9,000 円,
非会員 13,000 円, 学生 4,000 円
(テキスト代・昼食代を含む)

申込締切：平成 24 年 10 月 18 日(木)※参加費振込み締切

申込方法：必要事項(末尾の申込書式参照)を記入の上、電子メール, または FAX で申し込み下さい。申し込み後、返信メールなどで仮参加受付を確認後、以下の銀行に上記参加費を振り込み願います。振り込み確認後、正式な参加受付確定としますので、原則として上記締切日までに振込み願います。(振り込み手数料は各自ご負担願います)

[振込先]

みずほ銀行 大岡山支店(支店番号:145)
普通預金 口座番号:2176706
名義:溶接学会東部支部

申込先：東京工業大学大学院 理工学研究科
国際開発工学専攻 高橋研究室 三田尾
e-mail: jwseast@ide.titech.ac.jp
fax: 03-5734-3915

受講ポイント：

- ① IIW 溶接技術者資格 特認コース履修ポイント
計 3.05 ポイント
(モジュール MX: 0.7pt, MX: 2.35pt)
- ② ISO14731/WES8103 溶接管理技術者
再認証クレジットポイント: 6 ポイント

■集合

集合場所：JR 内房線 八幡宿駅 改札付近

集合時刻：9:50

(電車参考) JR 東京駅 8:47 (横須賀・総武線快速) - JR 千葉駅 9:26

JR 千葉駅 9:32 (内房線 木更津行) - JR 八幡宿 9:45

お車での参加はご遠慮ください。

解散予定：JR 内房線 八幡宿駅



プログラム：

- (1)10:00～10:10 開会の挨拶（東部支部支部長）
- (2)10:10～11:20 「重電機器における溶接の自動化とインプロセス品質管理」
*IIW pt = M4: 0.7 (M4.2: 0.3, M4.6: 0.4)
株式会社東芝 京浜事業所 浅井 知 氏
重電機器における溶接は、厚板、大型である上に、高品質が要求されるため、施工管理、品質管理が重要となる。一方、生産性やコストの観点から高能率化、自動化が必要となる。
さらに熟練溶接士の不足から高度な溶接自動化システムが要望されている。本講演では、自動化のキーテクノロジーである視覚センサを用いたセンシングシステムを中心に弊社の溶接自動化システムの事例を紹介するとともにセンシングシステムの応用として溶接中に品質を確認するインプロセス品質管理システムの現状についても紹介する。
- (3)11:20～12:30 「自動化・効率化に向けたデジタルインパータ制御溶接機器の開発動向」
*IIW pt = M1: 0.7 (M1.3: 0.7)
株式会社ダイヘン 上山 智之 氏
近年、溶接機器のデジタル制御化が進み、ガスシールドアーク溶接では入熱制御、スパッタ低減、高溶着・高速溶接を可能とする電流波形制御やワイヤ送給制御が種々開発されてきた。本講演では、自動溶接やロボット溶接において広く用いられている炭酸ガス・マグ・ミグ溶接機器について溶接プロセスの観点から溶接の自動化・効率化に向けた開発動向を紹介する。

- (4)12:30～13:30 昼食休憩（お弁当をご用意します。弁当代は参加費に含む）
- (5)13:30～14:30 「3D モデルによる造船の設計・生産統合」
*IIW pt = M4: 0.6 (M4.1: 0.3, M4.2: 0.3)
三井造船株式会社船舶・艦艇事業本部
千葉造船工場 荒瀬 進 氏
三井造船では1970年代からCAD/CAMシステムの開発に取り組み、1990年末には、設計・生産を統合したシステム（メイシス）の基盤を完成させた。以来、幾多の実船適用を経て、システムの定着、拡張が図られている。
造船業は受注生産であり、引合いから始まり、設計情報が詳細化されながら加工、組立と建造が進む。これら造船業の特長を踏まえ、そのプロセスに特化した各システムの概要と情報の流れを紹介する。溶接情報についても、CADモデルからの生成、生産管理での活用について概説する。また、最近では3D-CADによるフロントローディングを推進しており、品質向上を目的としたモデルレビューについて、その一端を紹介する。
- (6)14:30～14:45 休憩
- (7)14:45～16:30 三井造船 千葉事業所 見学会
*IIW pt = M4: 1.05 (M4.4: 1.05)
見学会にあたっては制約事項（撮影および触手禁止、携帯電話の携行禁止など）があります。また一部が非公開となる場合があります。
- (8)16:30～16:45 質疑応答
- (9)16:45～16:50 閉会の挨拶（東部支部副支部長）

■申込書式

第40回溶接学会東部支部実用溶接講座（見学会&講演会）申込書

（申込日： 月 日）

●受講者名（漢字&ふりがな）： _____

●会員資格（○をつけて下さい）： ・正会員 ・賛助会員 ・学生 ・非会員

●参加費請求書（○をつけて下さい）： ・要 ・不要

●勤務先／会社名・所属部課名 または通学先／大学名・所属学部学科名

●勤務先／通学先の連絡先

・住所： _____

・E-mail： _____ 電話： _____ FAX： _____



「一般社団法人」溶接学会への移行のお知らせ

社団法人溶接学会は、一般社団法人溶接学会に移行いたしました。

溶接学会は大正 15 年に発足し、昭和 11 年 3 月 17 日に公益団体として「社団法人」の認可を受け、溶接・接合に関する学術・技術の向上普及を図り文化の発展に寄与する活動を行って参りました。

この度、公益法人制度改革にともなう法律の施行に適合するため、溶接学会は約 2 年前から「一般社団法人」への移行準備を鋭意進めて参りましたが、平成 24 年 2 月 20 日に内閣総理大臣から一般社団法人として認可され、3 月 1 日付けで「一般社団法人溶接学会」として移行登記しました。

【沿革】

大正 15 年（1926 年）5 月 29 日	「電気溶接協会」として発足
昭和 2 年（1927 年）3 月 26 日	「溶接協会」と改称
昭和 11 年（1936 年）3 月 17 日	「社団法人溶接協会」として法人認可
昭和 18 年（1943 年）8 月 6 日	「社団法人溶接学会」と改称
昭和 35 年（1960 年）9 月 26 日	「社団法人溶接学会」と改称
平成 24 年（2012 年）3 月 1 日	「一般社団法人溶接学会」として移行登記

溶接学会事務所移転のお知らせ

この度、本学会は事務所を下記のとおり移転しました。

移転先：〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町4丁目20番地 溶接会館 6F

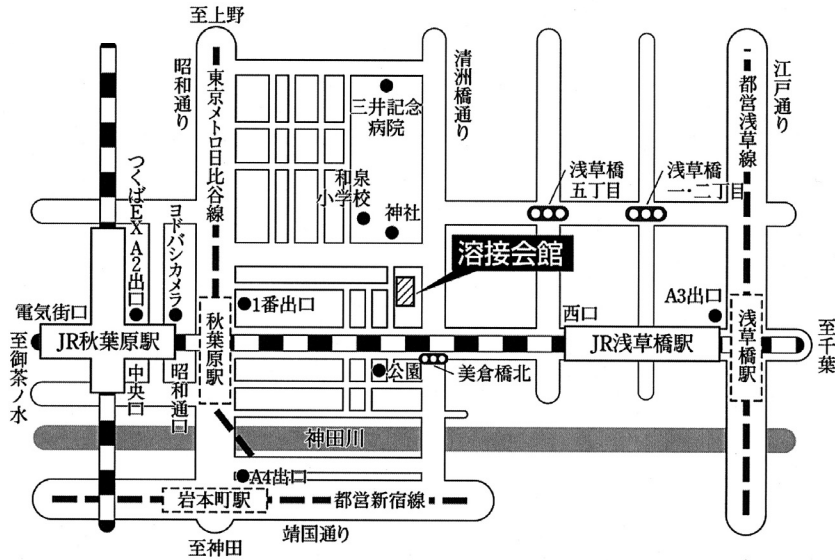
TEL：03-5825-4073

FAX：03-5825-4331

(TEL, FAX 番号がかわりました)

業務開始日：平成24年6月4日(月)

移転先案内図



【所在地】 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町4丁目20番地 溶接会館 6F

【交通案内】 JR秋葉原駅 昭南通口から 徒歩8分

JR浅草橋駅 西口から 徒歩8分

東京メトロ日比谷線 秋葉原駅 1番出口より 徒歩7分

都営新宿線 岩本町駅 A4出口より 徒歩12分

都営浅草線 浅草橋駅 A3出口より 徒歩11分

つくばエクスプレス 秋葉原駅 A2出口より 徒歩12分



国際溶接学会 (IIW) グランジョン賞の募集について

IIW では、大学院生あるいは同年代の若い研究者による論文（単独著）を対象としたグランジョン賞を制定し、募集しております。

この賞は、IIW 科学技術幹事 H.Granjon 氏（仏）を記念したもので、若手研究者の溶接研究への関心を高めることを目的としています。

受賞候補論文は下記の要領により、1 国から 3 分野 3 論文（1 分野 1 論文）まで応募できます。

奮ってご応募ください。

申込要領：

次の事項を記載し、全論文（和英何れでも可）を付して、メールにて期日までにお申し込みください。

- (1) 著者名及び年齢
- (2) 学位（学士、修士、博士など）

(3) 論文を著作した時期及び職名

国内申込先及び締め切り日：2012 年 10 月 12 日

申込先（連絡先）：日本溶接会議（IIW）石丸賢二

email: ishmaru@tg.rim.or.jp

TEL: 03-5825-4073

国内審査：

応募いただきました論文を国内審査し、11 月初旬までに IIW 本部宛、IIW 事務局より申し込みます。なお、国際溶接学会（IIW）での発表実績を重視して審査します。審査に合格した論文は著者にて英文に翻訳（10 ページ程度、10 月 31 日までに）していただきますので、あらかじめご用意くださいますようお願いいたします。

授賞式は、2013 年エッセン（ドイツ）大会になります。